

# 飼料用米推進による水田経営の安定

県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

平成26年産米の価格は、供給過剰を背景に大幅に下落し、主食用米での所得確保が困難な状況にありました。一方、生産者の多くは平成26年から始まった飼料用米による需給調整を柱とした新たな米生産について十分に理解していませんでした。普及センターでは、早急に飼料用米の取り組みを推進する必要があると考え、所得向上に着目した経営試算を行い、飼料用米の有利性をわかりやすく説明した資料を作成しました。また、市町、地域農業再生協議会、JAと連携し、管内の米農家全戸に作成した資料を配布するとともに、講習会等を通して、積極的に飼料用米を推進しました。

## 飼料用米による所得向上を試算

資料では、飼料用米による所得の向上を一目でわかるよう①専用品種による区分管理、②主食用品種による一括管理で飼料用米に取り組んだ場合と、主食用米との所得を比較した経営試算表を作成しました。また、経営規模10haで試算し、飼料用米の有利性をさらに実感できるようにしました。



講習会で飼料用米転換による所得向上を説明

## 飼料用米への転換により所得を向上させることができます！ (経営所得安定対策に加入しきょう)

【平成26年度 10a当たりの比較】 注：平成27年度 産地交付金(産地交付金の金額については別途)

|             |    | 飼料用米       |             |
|-------------|----|------------|-------------|
|             |    | 専用品種(区分管理) | 主食用品種(一括管理) |
| 収量(kg)      | 1) | 520        | 520         |
| 価格(円/kg)    | 2) | 350        | 310         |
| 販売代金        | 3) | 182,000    | 161,200     |
| 専用品種(区分管理)  | 4) | 182,000    | 161,200     |
| 主食用品種(一括管理) | 5) | 182,000    | 161,200     |
| 収入合計        | 6) | 364,000    | 322,400     |
| 経費          | 7) | 270,000    | 270,000     |
| 所得          | 8) | 94,000     | 52,400      |

- ・産地交付金(補助金)：専用品種は、その助成金(10aあたり)は、平成27年度地域農業再生協議会業務費を参照。
- ・主食用米(520kg/10a)：飼料用米(400kg/10a)として試算。飼料用米は区分管理と一括管理の両方。
- ・主食用米(520kg/10a)：専用品種(520kg/10a)として試算。飼料用米(520kg/10a)は一括管理を想定。
- ・一括管理の場合は、専用品種標準収量で計算し、標準収量以上の収量は主食用米として販売可能。
- ・経営費(78,472円/10a)：肥料費(60,472円/10a) + 実収地代(18,000円/10a) (家賃等費用は含まない)
- ・肥料費 = 種苗費 + 肥料費 + 農薬費 + 燃料費 + 水利用 + 稲保設備 + 農機具等(別途)
- ・物価等は、平成26年度農作物産額(10aあたり)を参考に、変動費代は18,000円/10aとして試算。
- ・飼料用米(専用品種)の産地交付金(産地交付金)については、167円/kgで試算(180,000円/10a上額)。
- ・主食用米(専用品種)の産地交付金(産地交付金)については、167円/kgで試算(180,000円/10a上額)。
- ・下回る分については167円/kgで産量(35,000kg/10a)で計算。
- ・注：飼料用米(主食用品種)の産地交付金(産地交付金)については、農産物の多収性品種(ゆめぴりち等)で試算(22,000円/10a)。
- ・つくば市が行う場合は、10,000円/10aに調整される。
- ・(1)平成27年度産地交付金は、主食用米の産地交付金(専用品種)の対称として扱われる。
- ・行付けする場合は、所得向上の取組条件があるため、地域農業再生協議会へ相談すること。
- ・主食用品種の産地交付金(専用品種)は、専用品種(1)の対称として扱われる。

## 所得が増加します！ 10haの経営規模で試算

| 主食用米10ha |      | 主食用米6ha、飼料用米4ha |            |            |
|----------|------|-----------------|------------|------------|
|          | 10ha | 合計              | 主食用米(専用品種) | 飼料用米(専用品種) |
| 収量(kg)   | 1)   | 520,000         | 312,000    | 208,000    |
| 販売代金合計   | 2)   | 182,000         | 4,880,000  | 360,000    |
| 収入合計     | 3)   | 182,000         | 5,064,400  | 4,614,400  |
| 収入合計     | 4)   | 182,000         | 10,104,400 | 4,974,400  |
| 経費       | 5)   | 784,720         | 8,023,640  | 3,315,320  |
| 所得       | 6)   | 702,800         | 2,080,760  | 1,659,080  |

- ・主食用米(520kg/10a)：飼料用米(専用品種)は400kg/10a(区分管理)として試算。
- ・主食用米(520kg/10a)：専用品種(520kg/10a)として試算。飼料用米(520kg/10a)は一括管理を想定。
- ・注：飼料用米(主食用品種)の産地交付金(産地交付金)については、農産物の多収性品種(ゆめぴりち等)で試算(22,000円/10a)。
- ・つくば市が行う場合は、10,000円/10aに調整される。
- ・(1)平成27年度産地交付金は、主食用米の産地交付金(専用品種)の対称として扱われる。
- ・行付けする場合は、所得向上の取組条件があるため、地域農業再生協議会へ相談すること。
- ・主食用品種の産地交付金(専用品種)は、専用品種(1)の対称として扱われる。

飼料用米の有利性を経営試算した啓発資料

## 飼料用米作付け面積が大幅増加

こうした活動により、生産者に飼料用米の有利性や、米の需給調整による安定した米価の確保の重要性が広く理解されました。その結果、平成27年産の飼料用米の作付け面積は、これまで取り組みの少なかった3市を含め973haとなり、平成26年産の276haに比べ3.5倍に増加し、米価の値上がりも加わり、所得を大幅に向上させることができました。

## 飼料用米の作付け面積の推移 (ha)

| 市町村名    | H26年産 | H27年産 | 増加面積 |
|---------|-------|-------|------|
| つくば市    | 158   | 458   | 300  |
| つくばみらい市 | 2     | 186   | 184  |
| 取手市     | 6     | 106   | 100  |
| 守谷市     | 0     | 43    | 43   |
| 利根町     | 110   | 180   | 70   |
| 管内合計    | 276   | 973   | 697  |